



Title	特講
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1957-10
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77381
Type	manuscript
Note	東洋大学文学部社会学科。
File Information	N025_0134.pdf

[Instructions for use](#)



TRADE MARK

三美 A3

NOTE BOOK

講義原稿

関連(機の自動化技術)研究会

自然資源エネルギー省

都立大学

昭和31年秋

TOKYO SANBI NOTE

第三回 空七板元

一 日本の社會的風氣は時代は變化した。
日本は社會的風氣の變遷の時、日本は變遷
日本は個人の自由の意味の世界へ。

一 常時研究圖じをね、かくのかう。

一 ある本來の本來の構造は人の手で
其本來の構造は人の手で組織的の構造。
其本來の構造は人の手で組織的の構造。
其本來の構造は人の手で組織的の構造。

一 人間の生活はたゞの基本的構造

書きよい
ヘンがへらない
インキにじまない
三美マルス
三美描つた サンピノート
表紙 美
製本 美
紙質 美
三美マーリス
三拍子そろつた



農村の都市化

アメイカの人口三分之數
大半は私がへ
即ち農人人口の漸増

一 権力の漸増

一 未知人掌固の漸増

一 着況より今現へ

一 永続的より瞬時へ

一人と人との關係より権力

権力の關係へ

一直系家庭より夫婦家庭

一 消防團より消防団へ

一 都市化と職業化へ

一 京漢洋の推進

自然林の文化精神

村としひの精神

宗の精神おの精神

都市一連は都市の

縣人ほ地域はいわゆるにむち皆先づ縣

自然林は共同經驗は強くなる。

自同感覚共同經驗の場今からこそ、共同經驗

内容となつて片々傳令が多つか、左人有り
のは都市にはなつて、都市人有りげんばく

に経験も勘定もいふべきでなければいけま

ねば、都はなつて、けれども都市の中には

多くのがあるこの精神がある。都市の

中の林は、區域に同業者あり

に同業者は、区域に同業者あり

その方を一つといふ考へればやはりこの都

市の精神はあれど云へる。金沢市には

やは、左人有りの区域の精神がある。す

れの精神は一本の同業の会員の林に

あつて、左人有りの区域の精神がある。

都市の精神は色々の色の短いセンイ

をより合せて、縣くや、けれども色

の存立のである。運である。

◎精な所としこは人の性格か一朝ルレニ
一変したと思へる場合です。仙者か学者
リを元の元が之後、悪人が彼の後
名を傳へた場合をどういき。死し一般
は人は

人の中に現れるものは、その時代の風習や社会状況によって大きく変化する。しかし、精神的な内面は、時代や環境の変化に左右されず、常に一定の形で存在する。このことは、個人の行動や外見だけではなく、その心構えや思想、価値観など、より深層的な部分でも同じである。つまり、精神は、その時代の外的条件によって現れる「形」であり、「本質」は、時代を超えて変わることはない。したがって、古の賢人や聖人は、現代の人々と比べて、外見的には断然違うかもしれないが、精神的には、必ずしも異なった人間ではあるまい。ところが、一方で、時代とともに、人々の行動や外見は確実に変化していく。これは、社会の進歩や技術の発展によるものであり、必ずしも悪いことではない。しかし、一方で、この変化によって、古の精神や文化が失われてしまう危険性もある。したがって、古の精神や文化を尊重しながら、現代の社会に適応するためには、その「形」を理解するだけでなく、その「本質」を理解する必要がある。つまり、古の精神や文化を「死んでしまう」と思ってはいけない。むしろ、それを生き残らせるために、現代の社会に適応する方法を見つけることが、重要な課題である。

※自ら行動する周囲の状況の勘定は、反
対よりは苦痛です。従ふ何事かしく
私はからしく反抗の周囲と離れてされ
て紅葉の行動の型があります。社会が
私がはうつむく私のレジナル。
レジナル修業行動とはうれしく
でうか、又レジナル行動とは苦痛です
ある。人のパーソナリティは自身す
べし半弓以周囲の状況の勘定が至る
べく行くのです。

元の
42

行政とは何かの成立します。
行政とは同一性を保つべきものか要
化され絶対的存在する人間は人格を認
して有り得る。人の人格はナシ、変
化すべき同一性は認められ
るべきである。行政は規制の法則によ
る規制の実現度を何よりも重視する
べきである。ハーバードの重視も
すばらしい。ハーバードではもしろく
すばりは規制しやすく相にかかる抱擁
するべきである。＊村人かナレフ、絶
対的同一性を保つべき事と有り
行政とは必ず更新されるべき事と保
持するべき事と有りと本事と連絡して
行動があらし勘定にあらし威信があ
る。それか村の精神

行政の運営にあらし能力をどうしてある
か、行動は統合しておらず、行動は運営
して行くとの過程に次の行動連鎖はお
る。

精神は勿れ仁人の心を拘まし射墨し
抱ゆしやうとし精神(がく)望^ムし^{シテ}行^ムと
うは仁人の心の外^ハ行^ハて行^ハ。

④仁人至る所^ハすず停^ムたる。否^ハ即^ハ之^ヲ斷^ム絶^ス
在^ハ在^ト見^エよ^リ山^ハ。

君^おの精神^を云^フ。即^ハ之^ヲ抱^ムか^セぬ^ハ有^ハま^ス。
行^ハ即^ハ之^ヲ見^ムはな^ハい^マ。即^ハ之^ヲ抱^ムか^セぬ^ハ有^ハま^ス。
精神^とも^ハみ^カべ^ス。

自紅葉の落葉被付構造

二枚の葉肉を積み

チャーピーのライスコンソメの調味料
1925.11.14
(大.14) 2月の北の丸井にて御市販

第一歩道橋、東洋美術のチラシ等

郭糸の場合

カニ色は地色と自紅葉と郭糸の材

林薦及び御市と行政地圖

自糸林の場合
私は林薦に申請して六十石の

集園の元に行政集園をすり、

云々。私に自糸は一般の帝薦と
かけられてもものでもあるが今多く、

それは江戸時代の行政は即ち御一

所詔の林の場合又云々と述

べて云々。自糸林を決定するや

の日には(は林と云ふもれ)一月

の後(は)又(は)林は氏子の共同祭祀

の例(は)も(は)場合が多(は)めあら、

旧林で江戸代の氏子用(は)めあら

ものが身辺持を力す。最大の條件。
あ」とおへへた。

私が身辺持に行政林を賣却を
して庄子町はちにうちえひへ3脚立
あると見る。

二、都市の傳令

都市の運営の統一の基礎として之の
範囲決定の上に ~~都政~~^{行政組織} を主要レ
ンジトマツル一と區くではなつ。

私は都市と政治との關係は次の
文化生活の起原をもつてす。概要一
はれ」とと述べておる。

即ち
都市は政治と其の登場するしん或い
は都市が登場するとの關係で二つの政治
が生じて或いは政治が登場する。と
直ちにその二の異化的の形態として
都市が生れたのが考へる。

居る。又他都市の如く有る在都市
に政治を併せんとする都市は一と
都したがふと思はれよと云ふ事。

政治なくして都市の存在は一日も
あり得ないにし考へて此。

その時代とし帝の最大の対外的
大義落成化すである都市の秩序
の維持の為に最も政治は重要なある
考へる所、近時まで都市は口宋
の口内維持力がえりうつばかり既
技術的にも地方都市は自力によつ
防衛する所や要は屢々あつてゐ

ヨラニの際都節は政治力アレハ今
市民の力ア防衛の力ア結成し防
衛の度を及けるには到底アア彼ア
んアアアア。

色セルアツヘ都節カラビの巨大なア体魄を
金く成セセレルアシヒ共の都節は火災災害
や風雨害アズシヘシハ病の病害アズシハ
政カナハ防衛の度をあけ本ければ
アテスカ事アリ。

都節は大臣に於ケリ今ハアシニシ
政治の力アレハ到底有疏シナキ
もと共ヘアメ。

都市の政治力が沒有した所津谷村地
区に都市を立つの外郊を区割する最
適の境界線也可。

口家々と立と政治の役立すの境の
線か如何の民社はも封掌してみよ
か吾人の税と税と料と料とうひす。

是が民税の名でキ、はわに片と税等は
絶へずはよしの同一の境内の
人々の手税印と同一の民社名を有
せん人いぢ。その中へ文化七
パ(ソナリナ)レし体質とつし同一の型
共で立と立はれ。政治力を

此かくの如き境遇を経てしかよば
なれど老へる。古代学者にかくの如き
偉力を老へる事あまことかせんか、此かくの如
き偉力を發揮ひらめくすれば、学者は草野。
序稿じょこうへは、第一の政治力をして政事
しむものと跋ばくへゆ。

甲か乙こ又ほか半はん正じやう

庄わ仁じんせしめ、庄わ仁じんした北きた進しん、
北の進のセりめせりめ半はん正じやうを、北の進を

特とく高たかを、高生高たか生おきを、高生をせしめせしめ、高生が

政治せいじへあると、それには老おへて、庄わ仁じん

せしむ。力ちからが、今後こね物ものであらう、か、若わか
力ちからであらう、か、仰あ仰あであらう、か、それは

向むかいはなし。現あるはな説せつ、學がく説せつす

常にモルモチ原の蔭にかくれてゐる。

監視部長局も化者宿眠術にかけられたりされな一色の原野は

皆体序假想せり。何れも皆之の支配者が被支配者に立す。

同

國の政治である。同様に心地悪く

万人ト好す同一の争奪心附せしむより不可能である。もしも急す要する場合

にかかる如ヤヌキモ実現するには至らず中の

至難である。70%の人々がよく賛成する

事例行節並指導しつづく丈でも人向

掌は持つて30%又は10%の人に正面よ

り反対する人々であるのか常です。最も
反対する 5% の人々に対し、それと金額
すのは暴力以外にはない、常

暴力を用いて強制する力を用意して
万民を指導する。これがは政治以外
にはない。

都市の官兵の大東洋銀行の秩序は
政治の力をもってゆきとす場合に
ある。

自立の統一税を強調した理由

右記は余本固の統一税を強調し過ぎる
と述べられ、が、自立の統一税も
強さより弱さへ表れし方より云ふう
余も耳を傾けた。徳は他にあつ統一税
の強さは統一税の玉の通りであらうか
の強さは統一税の玉の通りであらうか
あるから、自立の統一税は弱
いものだ。自立の統一税は弱
いものだ。これが基盤
であるが如きである。こんな形で統一税
が決するには、この無點線の如きは、
一度に答へるのを待つべきである。
統一税の如きは、

名目では自立の独立性も統一税も
一般見落され、行政の強化が政
事の上にも元氣な精神の上にはせず
だ。常より政治家と部長の存在は
もろ瓦合の如きとの両者へれていた。
部長は自身の部長根性がどんな
行政の基礎をつけるかと云ふも自覚
すよくなくなれば多く近く部長
は物に支配され、必ずしも統一税
を行ひながら生活の上から

筋を弱くして居るのであるからほほえ
としん應力をもろしく時代です。
部長官は本部の持有机體や部長氏
神の本元への今元がすまん仕事
七番の大さなたる本の行政者の
指掌方向を示して貰ふ。

實は指掌はそのへの整備者としての部長
の自立性の尊厳が、實は指掌はいし
有能であると思ふ。根據は色々
ある。實掌主計掌丈にては不立方一
典は行者かは要へまい。その方には
實民の生活の底淺に通すもの

ちにかはなじめと私は思ふ所だ。

又豈せ調査の部隊立場にす
る所が絶対に必要もあり合理的
であつて、併し實地ある所を認めん。

私は小字の意味を乞ふ際若
すよろしく仰せられ、部隊の独立性と
自主性と部隊民の政治家として
何んに充份に知られずともいふ。

故に私は独立性と自主性を十分
過ぎ、さゝと云ふ事よりは、おそれによ
御法典中の諸法規並下や調査が
漸次改修する所と見てよい。

我の國泡乳と日本地草一
御薦の血在能と独立性は比較にならぬ
位安質してあらうとも、變じてやがれ
尚ほ余脈を感ず、今はあとは見る。
者以書ひん私の本の内容を改化のア
字んよ。批評すのはえりに適切で
有い。けしかばね本は不詳の構造
は今後ほどのおこなをさへよいか
あります。

氏中と林の自元姓

林の時化んありせり
村の民神鎮宇は領主の鎮宇を本元
とするお元ヒレの意味を持たぬはたらな
からと有贊は云ふ。だから村の氏神は
自元的のしのじりえより上からの支配や干
渉に附れめし物にしてあると仰はる。
義神以外のしものづの時化り林は
上級の政治的権力と併せかの形で結びつ
て居るからお為は元の統一はありし
際の自元也自体性をねたとは足へぬ
と徳は云ふ。

先づ氏神丈につけられると、林のを仰ぐ

祭えの鎮守と本社とす。お祀りいかか。
この場合の本社お祀の社名はなき時は
何であるか。本社の祭神が主のもの、本社
の祭神とするか、^{〔主〕}本社の祭神の位
が、本社の祭神の位^{〔主〕}なる、社は
何よりか。

余は丁寧には余り適じないが、今日の所考
やくの祭神を天神地祇に統一したう
記の中考記の神^{〔レ〕}の神^{〔レ〕}の名を用いし
めん改令があつた^{〔又注〕}は、^{〔又注〕}改めたうけ
十七も如何^{〔シテ〕}改めの大變革^{〔シテ〕}の場合に
祭えの故に方^{〔シテ〕}に主張元の鎮守の本社

とせしめんと云ふ史実は固かなく、主權の大
を廢すす毎にかくの如き、安葬がある
筈はずの様な事か。主の由來が既解され
ないからです。

有り難は主祀焉の権力の多いお薦の氏神
より他のものも貢えぬはありやかつて
存じぬるどもか、仍へば主祀焉は何んの
おへどんなんづきをね薦の氏神に要れ
し期付されぬ。其の氏神に何か恐よす
き仁性があるのかの様で考へてみる様です。
私の意見と申すには其の氏神には必ず
と仰は有りな」と云ひやう。男神

か女神とか多くの莫ニ神々が初から不神々
か時には不擇を好み不淨の神をもるし
するが、立くなすは強どミタコトヨの事
あつて、村人等の即な上祈りを行ひし
同オレくわよものか氏神である。善惡一
の行動や正當不都程立れい通りに善
成す。存心協力しふゝ力が村人等のん
いうつゝと民神いす。どんな凶疫の
あへもやしらし安うる。性格ともつん神
である。こんな神をいたすのヒニル
めひ支は干渉しなければならぬところか
あるが。

田中國の内日本の民務行政のよりに神社
は國の神社であるが、國の行政の中心をもつてある
そのもの神社を過り財政的指導する事を指す
事例で、又地方政府が社務を主導して
其の祭事に参りし、祭祀科をもした。
役場の人か祭事に參みますので祭は一層
盛大となり賑やかな感じをもつた。
信仰の内容も信仰の強さもそのもの
やしてして主として忠人は必ずおひいやす
るといふ(?)いつもわざの神社と化
してしまつてゐる。少し民神よりして
神官のまゝ神事を行つてゐる。

村落が支配され、立場にあらかじめ定められたままの生活を営む自立性のない、中央の支配下に村落の自立性を失う。徳性をもおさへて中立がある場合もあり、あるいは一般的の村落の生活と並んで平安生活をするための自立性をもつたものである。しかし、これらはもううかる有り難い自立性と云ふよりも、むしろ自立性のないものである。村落は行政的の力の自立性を失つておさへられ、かゝる事はたしかにどうか、立派なうちはやの又いつの時は代めどこの口の

本筋とされめり家の内の一章である
す以上とれはなくおれのアーヴィングの
私と「君の
私と自ら此と云ふのは疑いも
云れをよろこび積み助すくようヒラ
つゝ、おしへ自活の生活^生形^形である。
それとんた安^安さや^やい布^布^{2月}とくに山
主^主を政治者^者がめざす^{めざす}ゆゑはとん
あろア。

日本^{日本}の法律^法はの力の弱かつて時代にはお
落^落はるのとんも一体となつて自らを守^守なレ
かけんばだつたら^{だつたら}おの内^内で有^有相通^通じ
立^立公^公協^協力^力合^合つ生活^{生活}すアはどいすの

本の命令であつてあつた。物質的
も精神的も、政治的も経済的も、
左生活態形であつた。

零乞丐は封建時代の何時時代へ
も日本のは強く残さず原因のあつて
一ヶ月又は二ヶ月のうちに死む。
か、この結果は強い上よりの政治
力の弱いには弱いのであつたと云
ふのであるが、だからソシタリズムの
あとか、私共に自己おのれのための活
きを認められえなかつたのである。

スジの政治力の下に自己おのれの活

弱いと云ふ事は立派な事で、花魁の
事であつて、此の上の政治力が自
分の筋を目の仇に見ゆる事か一
度もあつたてありますか。おま
け虎を作り上の政令に反抗する
様な猫余はおの筋事を一々
おさへましたく、併し必ずしてある
うが、あらゆる政令の事に猫の
様に従順であります。おののりく
の生活の辛苦を覺ゆる事んへど
自分には何のうう事かある
事の物をも弱体化する事ある

えろろか

有望を

の

は

御内か一

の

は

にはえ

の

は

海港の

の

は